

16:9  
CENTER AXIS  
STRUCTURAL BEARING

# 働きがいを探すな。

SECTION A-A  
CAUSE-AND-EFFECT DIAGRAM  
16:9

## 働きがいが発生する因果を作れ。

「自己実現の罨」を打ち破る、価値創出のストイック・マニフェスト

STRUCTURAL BEARING

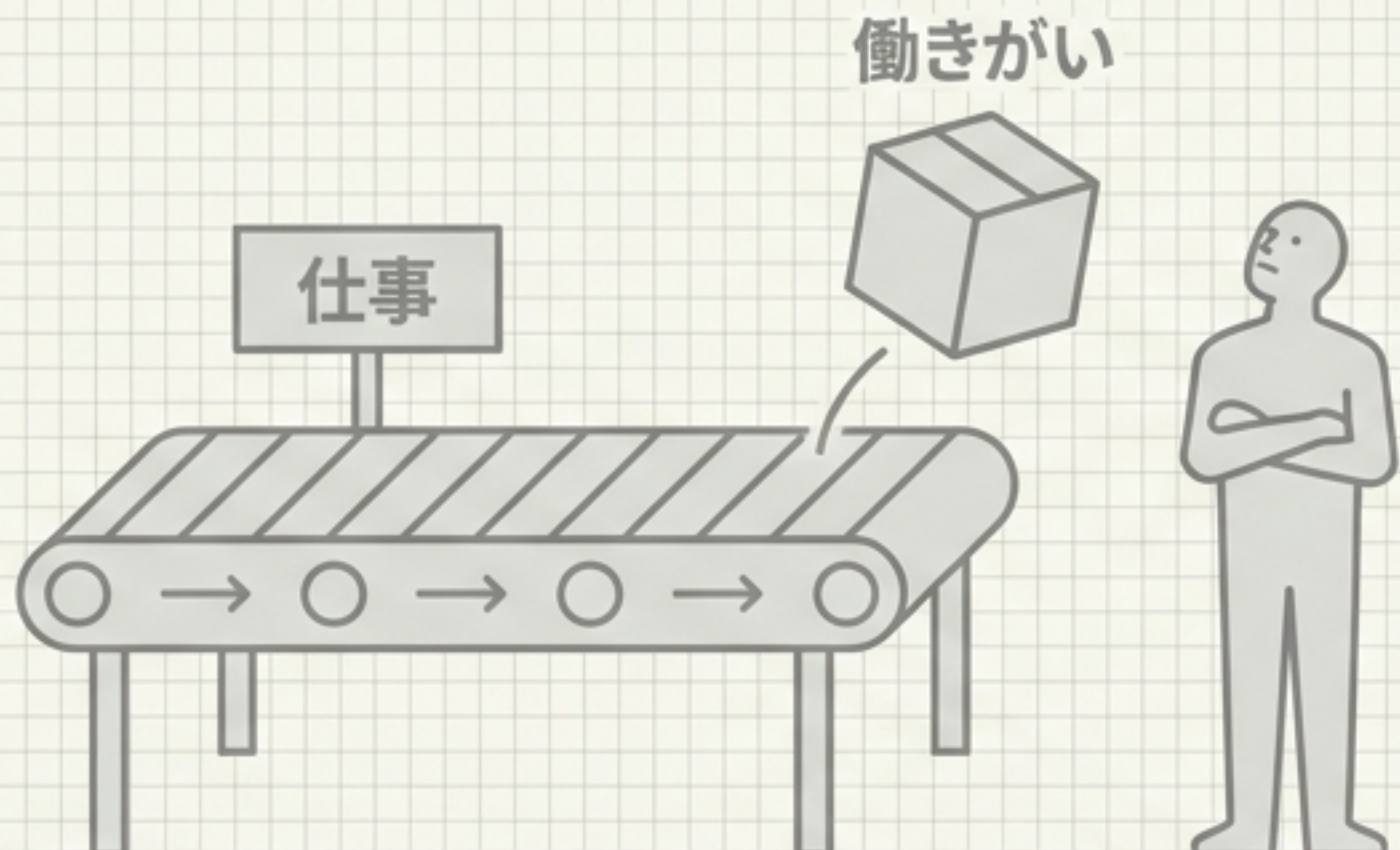
STRUCTURAL FOUNDATION PLAN

CAUSE-AND-EFFECT DIAGRAM

16:9

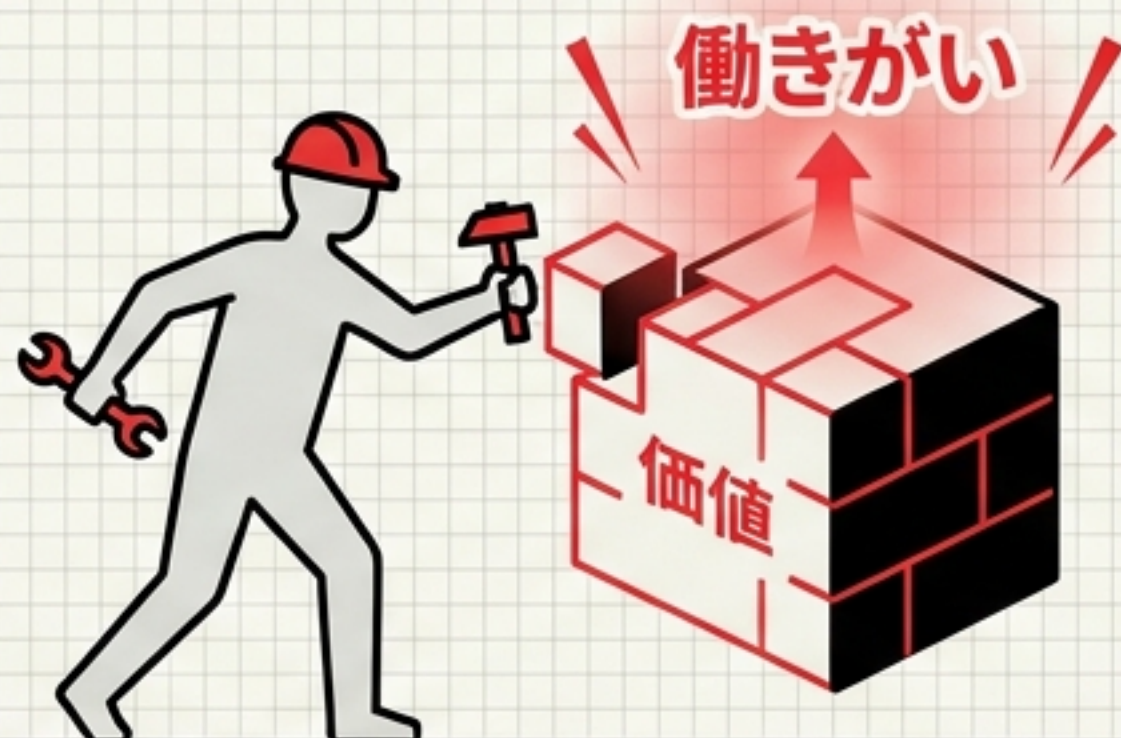
# 働きがいとは「感情サービス」ではない

最初から働きがいを求める「負け筋」の罠



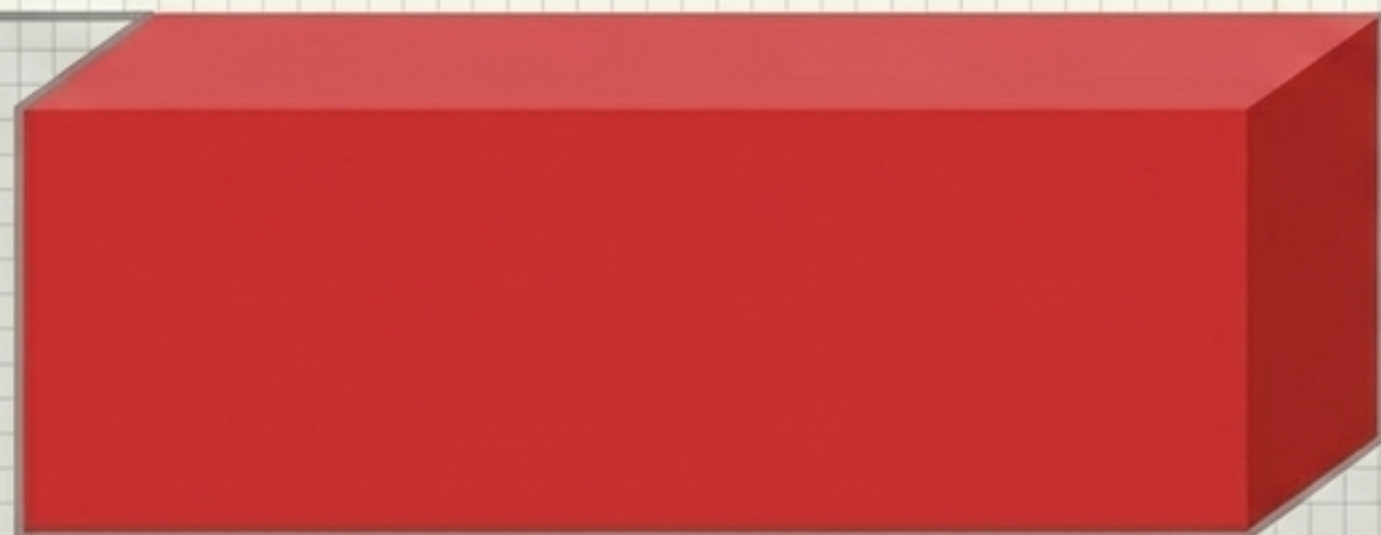
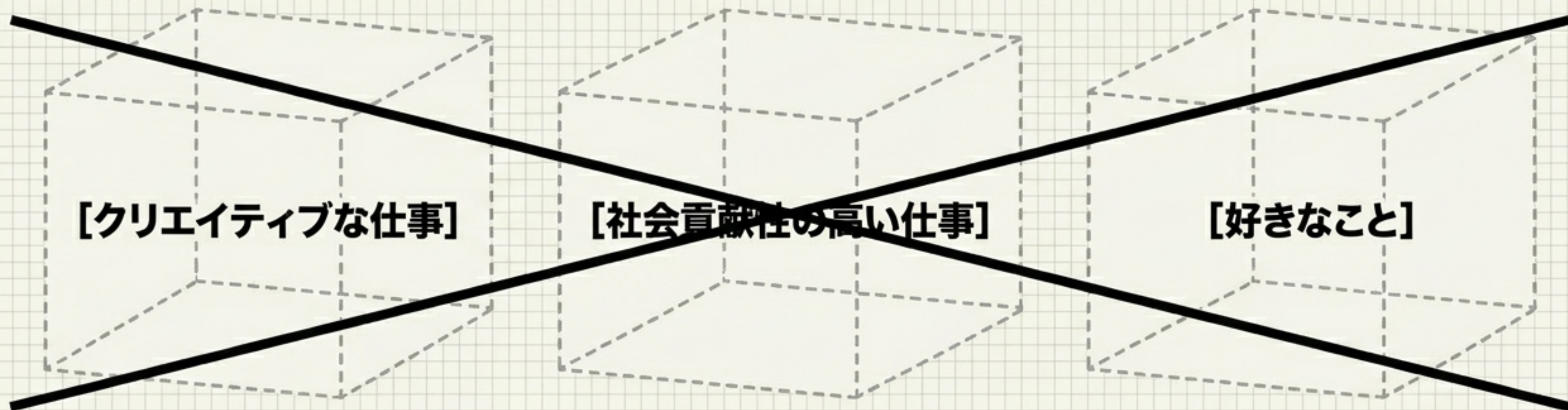
「この仕事なら、自分を満たしてくれる」  
「この会社なら、意味を与えてくれる」  
仕事側に“自分を満たす機能”が最初から  
用意されていると錯覚していないか？

働きがいとは、**仕事を選んだ瞬間に**  
与えられるものではない。



働きがいとは、**仕事を選んだ瞬間に**  
与えられるものではない。  
**仕事の中で価値を生み出した結果として**  
発生するものだ。

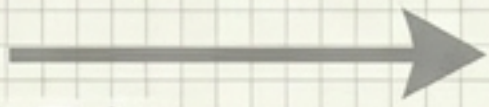
# 働きがいは、職業の属性で決まるわけではない



多く人は「仕事の種類」に  
宝物が埋まっていると信じて  
いる。  
しかし現実には、そこまで  
単純でも、甘くもない。

# 働きがいの土台はもっと低く、もっと強い

現代人が  
いきなり求める幻



自己実現・  
社会への大きな影響

期待を超える・信用を積む

「お金をもらえる」  
「家族の生活を支えられる」  
「今日も飯を食べる」

家族の生活を守るために  
現実へ働きかける行為。  
この事実への満足感を持つ  
人は強い。働く意味がすでに  
足元にあるからだ。

# 働きがいを感じないのは「認識が貧しい」からだ

永遠に不満が出るレンズ



実際の  
仕事データ

現実を見る強いレンズ



給料 → 「低い」  
評価 → 「されない」  
業務 → 「自分らしくない」

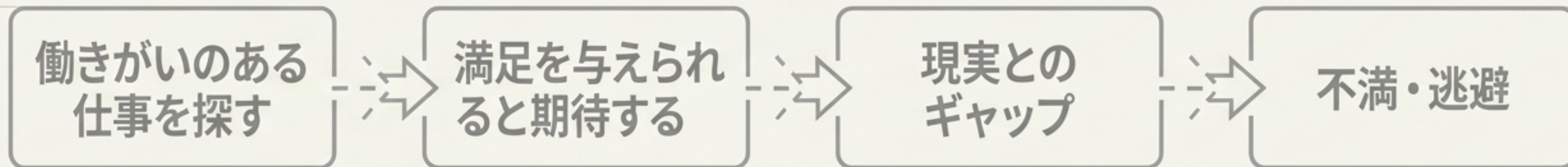
給料 → 「出る。ありがたい」  
家族 → 「支えられる」  
業務 → 「誰かが助かる」

価値を読み取る  
脳の感度が鈍っている

現実の中にすでに存在している  
価値を見逃さない能力

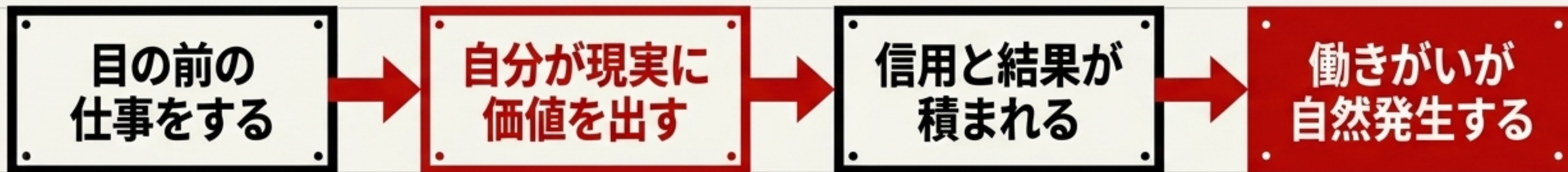
# 「働きがいのある仕事を探す」は順番が逆である

## The Trap Sequence



自分がまだ価値を出せていない現実からの逃避

## The Phoenix Sequence



**働きがいは探すものではない。発生させるものだ。**

# 働きがいが発生する因果を作る「4つの階段」

期待を少し超え、  
信用を積む

相手の困りごとを  
減らす

頼まれたことを  
正確にやる

できなかったことが  
できるようになる

「この仕事には働きがない」と言う前に問え。  
自分は、この仕事に働きがいが発生するだけの価値を出したのか？

# SDGs「働きがいも経済成長も」を甘く読むな



SDGs Goal 8

## 【都合の良い誤読】

「自分が気持ちよく働ける仕事を選ぼう」「好きなことで社会貢献しよう」という薄い自己実現の言葉。

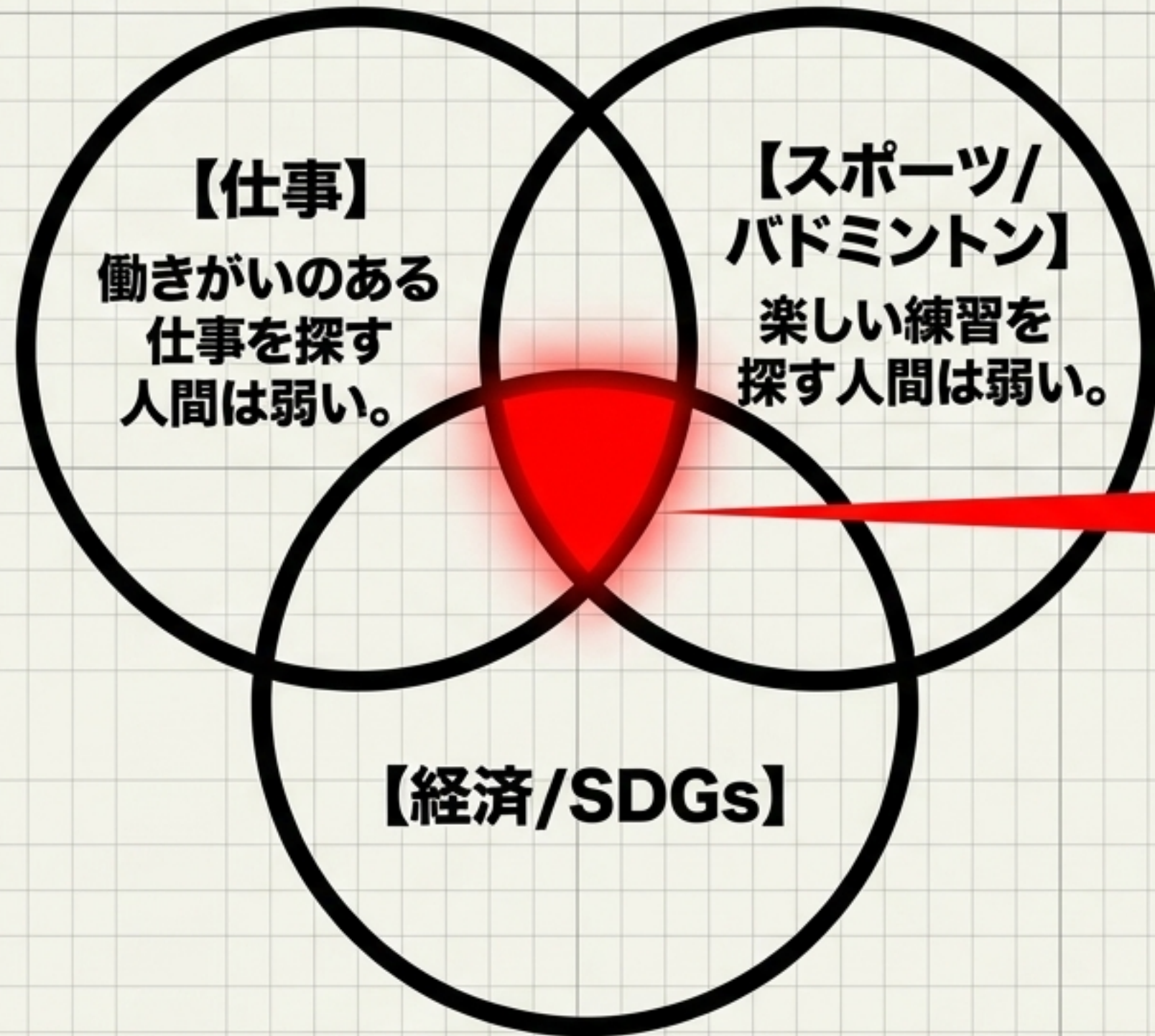
結果：現実逃避の飾り。ぬるい自己肯定の道具。

## 【真の要求】

人間の幸福と、現実の価値創出（経済の前進）。この両立。

結果：自分の労働が生活を支え、社会に価値を生んでいると認識できる力。最初に求めるべきは「価値を出せる自分」である。

# 価値認識の技術は、すべての領域を貫く



上達する練習を  
作れる人が強い。

働きがい生まれる  
ところまで、  
目の前線の仕事を  
育てられる人が強い。

これは感謝の問題や精神論ではない。「価値認識の技術」だ。

**[ 働きがい ] ≠ [ 仕事の豪華さ ]**

**[ 働きがい ] = [ 仕事から価値を読み取る脳の精度 ]**

**働きがいを探すな。**

**働きがいが発生する因果を作れ。**